～ビジネスで明日から活かせる～

JPAA知財活用講座
（第2クール）

オンライン開催

JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION
JPAA 日本弁理士会

2024年1月30日(火)、2月6日(火)、2月13日(火)　各日13:30～17:30開催

終了後、講師を交えた任意参加のフリートークタイムあり

講座の特徴

ビジネスに知財を活用することが重要と聞き、セミナー等で、特許、商標などの制度の基礎を学ばれた方は多くいらっしゃると思います。しかし、これを学んでも、ご自身の業務の中で何をしたらビジネスに知財を活用したと言えるのか、体感として理解できた方は少ないのではないでしょうか。

本講座では、知財制度に関する基礎的な知識をお持ちの方に、**日々の業務の中で何に注目して何を考えて仕事をすればビジネスに知財を活かして収益に貢献できるのか**を、大学教授、知財コンサルティング会社所属、企業所属といった様々な立場の弁理士の視点からお話しし、また**グループワークを通じて体感して頂くことで、ビジネスに明日から活かせる、一歩先へ進むための気づきをお持ち帰り頂きます。**

また、各回の講義終了後には、**任意参加のフリートークの時間**を３０分程度設けます。講義内容に対する質問に限らず、知財やビジネスについて日々悩んでいることや意見交換したいことなど、可能な範囲で何でもお答えします。

※2023年9-10月に開催した第１クールとほぼ同じ内容です。本講座は、中小企業、スタートアップ企業の経営者、知財担当者等で、知財に関する実務経験が比較的浅い方向けに構成しています。

主講師プロフィール

第１講：加藤 浩

青山特許事務所、顧問弁理士。大学教授として知的財産法の講義を担当している。20年ほど特許庁にて特許審査官・審判官を担当した。地方大学において10年近く特許塾の講師の経験あり。

第２講：塩﨑 義晃

株式会社IP Bridgeにて知財活用に取り組む弁理士。特許庁、機械メーカー、コンサルティング会社を経て現職。”保有技術・ノウハウを活用した事業展開支援”に長年取り組み、実績を有する。

第３講：今野 佳洋

企業に所属する弁理士。発明者として企業内で商品開発と知的財産の融合を検討、実行する。
商品開発責任者としてアメリカ子会社へ出向し、広義な知的財産にて売上を伸ばすことを経験する。

ファシリテート担当講師

主講師に加え、第１講：中　富雄、生塩 智邦　　第２講：吉田 正義、浜谷 康一
第３講：伊藤 太一、山本 睦也 の各弁理士が、ワークショップでの討論をサポートします。

■主催：日本弁理士会　https://www.jpaa.or.jp/

講義内容（予定）

第1講：1月30日（火）
事業活動と知的財産権

第1部　ヒット商品と知的財産

第1章　商品開発と知的財産
（1）知的財産とは
（2）知財財産の現状
（3）商品開発と知的財産

第2章　事例研究
・「モンカフェ」「ルンバ」「超立体マスク」「雪見だいふく」など

第3章　グループ討論
・開発者の視点から、知的財産の保護と活用に配慮した商品開発について検討します。

第2部　事業活動と知的財産

第1章　事業活動と知的財産活動
（1）知的財産活動の現状
（2）知的財産活動の課題
（3）知的財産活動の今後の方向性

第2章　事例研究
・「セルフレジ事件（UNIQLO）」「クイックホイール事件（Apple社）」等

第3章　グループ討論
・知財担当者の視点から、開発された商品における知的財産の保護と活用について検討します。

第3部　企業経営と知的財産

第1章　知的財産戦略の考え方
（1）知的財産戦略の必要性
（2）知的財産戦略の類型
（3）知的財産戦略の策定に向けて

第2章　事例研究
・知財ミックス、オープン＆クローズ戦略、ポートフォリオ戦略など

第3章　グループ討論
・経営者の視点から、開発された商品に関する知的財産戦略を検討します。

第2講：2月6日（火）
知財はどう活用すべきか ～コア価値を高める知財の活用方法～

第1部　知財を捉える

（1）知財の認識を変える

グループ演習①
“ヒット商品“となる理由を多角的に捉える

第2部　コア価値を捉える

（1）コア価値とは何か
（2）コア価値を抽出する方法

グループ演習②
自社のこれまでの姿を正しく捉える

第3部　知財を活用する

（1）コア価値を最大化させるための知財戦略（オープン＆クローズ戦略）
（2）知財活動の事例紹介

グループ演習③
自社がこれから目指す姿のアイデアを膨らませる

グループ演習④
目指す姿を達成するため、知財をどう活用するか

第4部　まとめ

第3講：2月13日（火）
稼ぎ続ける仕組みづくり

第1部　知的財産の変化

（1）知的財産は役に立っていないのか
（2）技術で勝ってビジネスで負ける日本

第2部　ビジネスモデルで知的財産を再定義する

（1）R&Dプロセスにマーケティング要素を取り入れる
（2）ビジネスモデルと知的財産の融合

グループ演習①
ビジネスモデルを想定した知財の活用

第3部　知的財産マネジメントの活用方法

（1）レベル別知的財産戦略
（2）商標の有効活用
（3）グレーゾーンの考え方

グループ演習②
知財戦略を加味した模倣品対策

第4部　人材育成

（1）Job description
（2）得意分野を更に伸ばす
（3）リーダーシップ

- **第１講では、企業における知的財産の活用方法について、開発者、知財担当者、経営者の視点から、グループ討論を通じて深く認識・体験して頂きます。**
- **第２講では、自社のコア価値を捉えた上で、将来自社が目指す姿からバックキャストして、これから知財をどのように活用できるかを考える方法を身に付けていただきます。**
- **第３講では、事業戦略（ビジネスモデル）と知的財産の関係性をお伝えし、自社の事業への活用方法を検討できるようにします。また、フレームワークを使って思考の整理が出来るようにします。**

お申し込み方法

受講料	各回10,000円、全講まとめて申込の場合３回で21,000円（消費税込み）
定員	各回１８名（先着順）
申込方法	下記ＵＲＬの申込ページ（Peatix）より、お申込みください。 申し込みに当たっては、申込ページに記載の注意事項をよくご確認下さい。

https://peatix.com/event/3785014/

＜お問合せ先＞日本弁理士会 経営・支援室　TEL:03-3519-2709　E-mail：keiei@jpaa.or.jp